

陸前高田市の戸羽太市長を表敬訪問しました(2020/10/1)

テーマ：連携協定、SDGs

場所： 陸前高田市役所

2020年10月1日(木)、東北大学災害科学国際研究所(以下、災害研)の連携協定先である陸前高田市の戸羽太市長を当研究所の今村文彦所長が表敬訪問しました。災害研では現在、SOLVE for SDGs プロジェクト(研究代表：小野裕一教授(情報管理・社会連携部門 社会連携オフィス))に取り組んでおり、その対象地域として、SDGs 未来都市である陸前高田市を選定しています。なお、SOLVE for SDGs プロジェクトでは、「誰ひとり取り残さない防災」を目指し、地域別・世帯別のリスクアセスメントによる災害リスクの把握、ピンポイントアラートシステムによる効果的な情報提供の方策等について研究開発を進めています。

戸羽市長と今村所長の対談では、陸前高田市の復興状況や今後の防災対策について、活発な議論が行われました。また、SOLVE for SDGs プロジェクトの目的や今後の展望について、小野教授から戸羽市長に説明いたしました。また当日は、当研究所 情報管理・社会連携部門 社会連携オフィスの佐々木大輔助教と坂本壮共同研究員も同行しました。

引き続き、SOLVE for SDGs プロジェクトでは、地域課題の解決を目指して、実践的防災学に資する研究活動を進めてまいります。



対談の様子



集合写真

文責：坂本 壮、佐々木大輔(情報管理・社会連携部門)